

取り組み2年目の変化

～できることから、コツコツと～



社会福祉法人 庄内福祉会
特別養護老人ホーム はくりゆう園

当施設の特徴

- 従来型個室タイプ**
- 入所 50名
ショートステイ 10名
A.B.Cエリアに分かれている

- 介護職員**
パート職員含め 17名
+派遣職員 4名
(男性 5名 女性 12名)

介護職員の平均年齢
52歳(20～72歳まで)

- 看護職員 7名
- 理学療法士 1名



従来型個室で、居室面積は
10.98㎡～12.64㎡と やや狭い

現在の福祉用具数

- フレックスボード 3枚
- ラック 1枚
- スライディングシート 8枚
- スライディングボード 5枚
- スライディンググローブ 5組
- リフト・スタンディングリフト 0台

福祉用具数は
去年に比べ
増えてきた!!



はくりゆう園 2年目の歩み

令和5年

2月～：すべての委員会活動が**一旦停止**

5月・6月：実技研修**参加できず**

8月～：**新しい職員**も入って、人員が増えてきた

実技研修に参加

9月：ノーリフティングケア委員会の定期開催を再開

新入職員も多数いる為、STEP1～3の教育を再度実施

10月：ノーリフティングケア**委員会再編成**

11月：サポートスタッフに**技術指導**

12月：技術ラウンド・環境ラウンド・福祉用具点検を実施

健康管理の面談の実施・リフトのデモンタル

できることからコツコツ頑張ろう!!

深刻な
人員不足により...

徐々に活動再開!!



ノーリフティング委員会 再編成

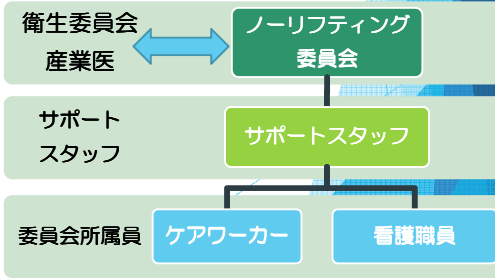
- ①統括マネージャー：施設長
- ②健康管理：看護主任
- ③技術教育：理学療法士
- ④プランニング：ケアマネージャー
- ⑤福祉用具管理：生活相談員
- ⑥サポートスタッフ：

モチベーションの高い

スタッフをCW・医務より

3名選出

**月2回委員会を行い、
情報を共有。
多職種で連携している。**



職員の再教育

スタッフ全員に
マニュアルのSTEP1~3を
再指導・テストも実施



再度スライディング
シートの実技講習を実施



技術チェックシートを
作成し、職員の技術
チェックを行う



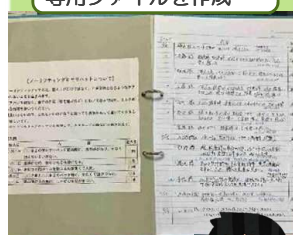
新入職員の指導に合わせて
既存職員にも
再度指導することで、
ノーマリニングケアの
目的や技術を全員で
再確認することができた!!



取り組みの見直し

1年目

現場との情報共有用に
専用ファイルを作成



一応読むけど、
情報量が多くて
実際何をしたら
いいのか
わからない。

現場の声



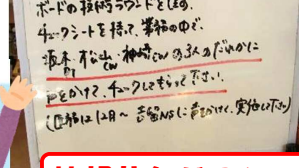
2年目

委員会で情報共有・対策検討

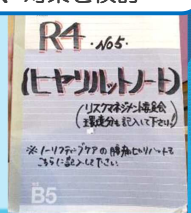


ファイルは委員会で
の情報共有に活用

ホワイトボードを使用し
現場スタッフに情報発信



腰痛ヒヤリハットは
リスクのヒヤリハットに
記載しケアカンファで
月3回、対策を検討



情報共有がスムーズに!!

サポートスタッフ との 連携強化

1年目

毎週月曜が
定期委員会で
現場CWの
参加が難し

業務が忙しいので
会議に出れない。

現場の声



サポートスタッフに
技術指導を実施



サポートスタッフが
現場スタッフに
技術指導を実施



2年目

現場の意見を取り入れやすくなった!!

委員会は月2回を目標に
シフトに合わせて
不定期開催

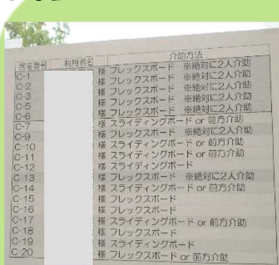
委員会は、定期開催にこだわらない。

サポートスタッフと協力して
教育係を増員し、
OJTで指導をしていくことで
現場スタッフの技術向上が図れた



フレックスボード使用率向上

1年目



使用者の表や居室前に福祉用具の種類を掲示



キャスター付きで
運びやすい環境

準備はするも
なかなか
定着せず
使わない人も
多数いる状況

どうしたら使って
もらえるのか、..

2年目

人員不足の為、
現場に委員会スタッフが
介入する機会が増えた

いつのまにか
フレックスボードの
使用が定着化



ボードの準備が
習慣化できた。

健康管理の見直し

面談の実施

1年目
腰痛レベル分けの
チェック表を
作成はしたが
活用に至れず
そのままに...



腰痛レベル分けて
重度の人に対して
医務が面談を実施。

腰痛の現状を
委員会内で共有し
腰痛要因に対して
対策を検討



2年目

施設会議にて再度
レベル分け・
対応策の説明



体操の見直し

腰痛対策として
ラジオ体操と
なっていたが
勤務の都合上、
できていない人が
多かった。



ミーティング後に時間の短い
「これだけ体操」を皆で実施



先輩施設への見学

床走行式リフトのデモ機をレンタル

明日香園さんの
浴室天井走行リフトを
見学。



個室が狭い為、
検討を先送りしていた
床走行式リフトを
2週間 レンタル

実際に使用する
ことで
利用者様の状態や
車椅子の種類に
よっての利点や欠点
を把握



リフト使用時に
スライディングシート・グローブを併用

現場職員の方から
シート・グローブも
使いたいとの声!!

シートとグローブを
居室や廊下に設置し、
お試して使用してくことに!



入浴の介助以外にも
床走行リフト等
実際の現場での
様々な情報を
教えて頂き、
メンバーの意欲向上!!



2年目の現状

成果

- 介護職員や看護職員が新たに
委員会メンバーに加わり、委員会活動が活発化。
- 福祉用具の使用が去年に比べて定着してきた!!
- 業務内で実施している腰痛予防対策の体操が定着。

課題

- 技術指導者の増員。
- 入浴介助の負担軽減。
(リフトの導入等)
- 年間計画の作成。
(職員教育、福祉用具、委員会活動)

1年目の時に比べて、
前向きに取り組むことができ
団結力が向上した!!



3年目の目標

- 技術指導者を増員し、
現場職員の技術向上。
- 年間を通しての体制づくり。
- ご利用者様に合わせた
福祉用具の選定・繰り返しを継続。



・焦らずに できることから 実施

ご利用者様も職員も
WIN-WINな環境に!!